



紀美野町の豊かな自然を発信～紀美野町自然環境ネットワーク～

豊かな自然に囲まれた紀美野町には、約 600 年の歴史をもつ「中田の棚田」があります。中田の棚田の再生活動については「わかつく」第 280 号で取り上げましたが、その動きが全町の自然環境保全活動を目指す活動へと広がりつつあります。その中心メンバーのひとり、「紀美野町地域おこし協力隊」として広島市から来られた行年さんにお聞きしました。



慣れない手つきですが…田植えの様子

中田の棚田 再生活動への参加

中田の棚田は 600 年以上続く歴史ある棚田ですが、年々耕作放棄地が増えていきました。仕事をしていたにもかかわらず、教科書ではなく実際に自然のなかに自然の魅力を伝えたいと思い、田舎への移住を考え始めました。たまたま見つけた紀美野町の移住体験ツアーに参加。小川地域棚田振興協議会の会長さんと出会った際に地域おこし協力隊という制度を知り、「棚田の再生活動をしながら自分のやりたいことを実現しては？」との提案もあり、協力隊として移住する決断をしました。行年さんは「地元の人たちが暖かく迎えてくれました」と言います。

活動を通じて紀美野町外の人たちも棚田に足を運ぶようになっており、人々とのつながりが生まれてきています。少しずつですが、

ネットワーキングの立ち上げ

紀美野町には、昆虫や鳥類、ほ乳類、植物など多様な生き物がいます。行年さんが移住してきてから、昆虫や両生類に詳しいほかの移住者たちと出会う機会があり、その移住者たちとともに、自然の魅力を伝える活動をしていく団体「紀美野町自然環境ネットワーク」を立ち上げました。

おこなう予定です。



おつかれさまでした！稲刈りの様子

棚田の再生活動が地域の活力につながってきていることを実感しているといえます。

ネットワーキングの立ち上げ

紀美野町には、昆虫や鳥類、ほ乳類、植物など多様な生き物がいます。行年さんが移住してきてから、昆虫や両生類に詳しいほかの移住者たちと出会う機会があり、その移住者たちとともに、自然の魅力を伝える活動をしていく団体「紀美野町自然環境ネットワーク」を立ち上げました。

開いている生物多様性保全を目指す「SAV E JAPAN プロジェクト」による取り組みがスタートしました。中田の棚田で耕作放棄地が田んぼに復活していく過程でどのような生き物がやってくるのかを子どもたちと観察しています。これまで、耕作放棄地での雑草や石を取り除く作業、田植えなど 5 回の活動を行いました。

紀美野町の豊かな自然を発信

中田の棚田では、生き物観察だけでなく、棚田の再生活動、お米づくりなどの農業体験、食育、再生に関わる人々との交流など、様々な体験をすることができそうです。

紀美野町にはほかに森林や川など様々なフィールドがあり、フィールドごとに特徴のある体験をすることができると期待されています。今後は自然体験を通して、紀美野町を多くの人に知ってもらい、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

また紀美野町は、関西国際空港にも近く、高野山への通り道になるため、海外の人にも紀美野町を楽しんでもらいたいと期待を寄せています。「ぜひ、紀美野町の豊かな自然を満喫しに来てください」と願いを込めて語ってくれました。

(森下和紀)

生き物探して子どもたちの歓声が

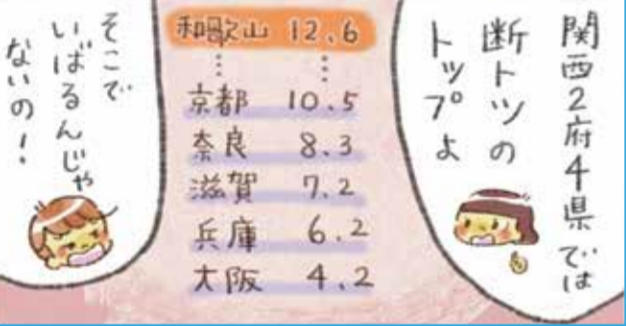
2022 年から中田の棚田で、損保ジャパンなどが全国各地で展開している生物多様性保全を目指す「SAV E JAPAN プロジェクト」による取り組みがスタートしました。

中田の棚田では、生き物観察だけでなく、棚田の再生活動、お米づくりなどの農業体験、食育、再生に関わる人々との交流など、様々な体験をすることができそうです。

紀美野町にはほかに森林や川など様々なフィールドがあり、フィールドごとに特徴のある体験をすることができると期待されています。今後は自然体験を通して、紀美野町を多くの人に知ってもらい、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

また紀美野町は、関西国際空港にも近く、高野山への通り道になるため、海外の人にも紀美野町を楽しんでもらいたいと期待を寄せています。「ぜひ、紀美野町の豊かな自然を満喫しに来てください」と願いを込めて語ってくれました。

(森下和紀)



活動内容はウェブで随時発信中！
紀美野町自然環境ネットワーク
<https://kiminonature.network.com/>

第 16 回和歌山地域貢献活動応援基金 わかやまいきいきファンド 助成団体募集！

全国の花王グループの社員有志のみなさんが毎月 1 口 50 円を任意の口数積み立てて、NPO・ボランティア団体の支援や災害支援などを行なう「花王ハートポケット倶楽部」。「わかやまいきいきファンド」は、同倶楽部が、和歌山県内でがんばる NPO・ボランティア団体を対象とした活動助成をおこなうプログラムです。これまでに約 120 を超える団体が助成を受けています。

第 16 回の助成プログラムの助成団体を募集いたします。みなさまの積極的なご応募をお待ちしております。

活動歴 2 年以内の団体対象	活動歴 2 年以上の団体対象
スタートアップ支援事業 5 万円を 4 団体に助成します。 団体が、これから始めたい、または充実させようとしている、「地域コミュニティに主体的に関わる事業」もしくは「2023 年 6 月豪雨被災地支援事業」に対して助成をします。	パワーアップ支援事業 10 万円を 3 団体に助成します。 団体が継続して取り組むことで、団体自身のパワーアップにもつながると考えられる、「地域コミュニティに主体的に関わる事業」もしくは「2023 年 6 月豪雨被災地支援事業」に対して助成をします（事業に関する収支予算書の提出が必要）。

応募方法

わかやま NPO センターのウェブサイト (<https://wnc.jp/works/11664>) から募集要項と応募用紙をダウンロードし、応募用紙に必要事項を記入いただき、ご応募ください。

- ◆ 対象事業の実施期間は 2024 年 4 月から 2025 年 3 月まで。
- ◆ 活動の様子は Facebook ページまたは団体ブログでご紹介ください。
- ◆ 2025 年 5 月に事業報告を提出いただきます。

2021 年度採択 (2022 年度実施) 団体の活動より。
(左) 外国人を対象に開催している日本語教室
(右) 社会経験が少ない青年を対象とした料理教室

締め切り・申請先

2023 年 11 月 16 日 (木) 消印有効

郵送の場合は
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
わかやま NPO センター 宛
FAX の場合は 073-423-8355 (送付状不要)
電子メールの場合は info@wnc.jp

申請相談

申請に関する各種ご相談は和歌山県 NPO サポートセンター (和歌山ビッグ愛 9 階) で承ります。
受付時間 火曜～土曜 9:00～20:50
日曜 9:00～17:30
月曜・祝祭日は休館です。
ご相談希望の方は事前にご予約ください。
TEL 073-435-5424
E-mail info@wakayama-npo.jp

主 催	花王ハートポケット倶楽部・花王株式会社 企画運営 認定 NPO 法人わかやま NPO センター
TEL	073-424-2223 (火曜から金曜 10 時～17 時、不在時は和歌山県 NPO サポートセンターに転送)
E-mail	info@wnc.jp

和歌山市 NPO・ボランティア 推進協議会 だより

なるこみふくろう菜園教室

日 程	10 月 18 日 (水) 15:00～16:00
場 所	なるこみ (和歌山市鳴神宇都宮病院敷地内)
内 容	有機農法による野菜栽培を実践されている農家から秋冬野菜の有機栽培について学びます
定 員	10 組 (申し込み必要)
参加費	500 円 (資料代)
主 催	農業公園ふくろう 080-3850-7220 agri.agriculture.2022@gmail.com (西野さん)

【このコーナーでは、和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会加盟団体の主催イベント等の内容を不定期にお知らせしています】